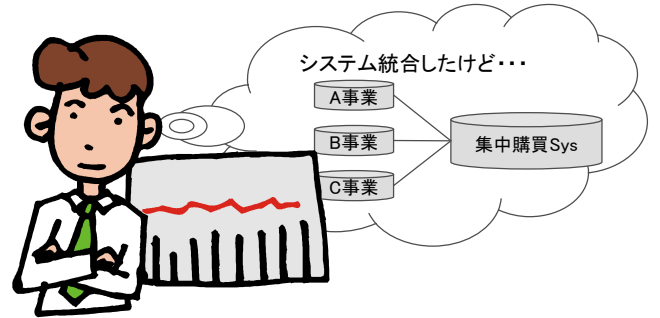


CSMによる購買コスト削減サービス

思うように集中購買は進んでいますか

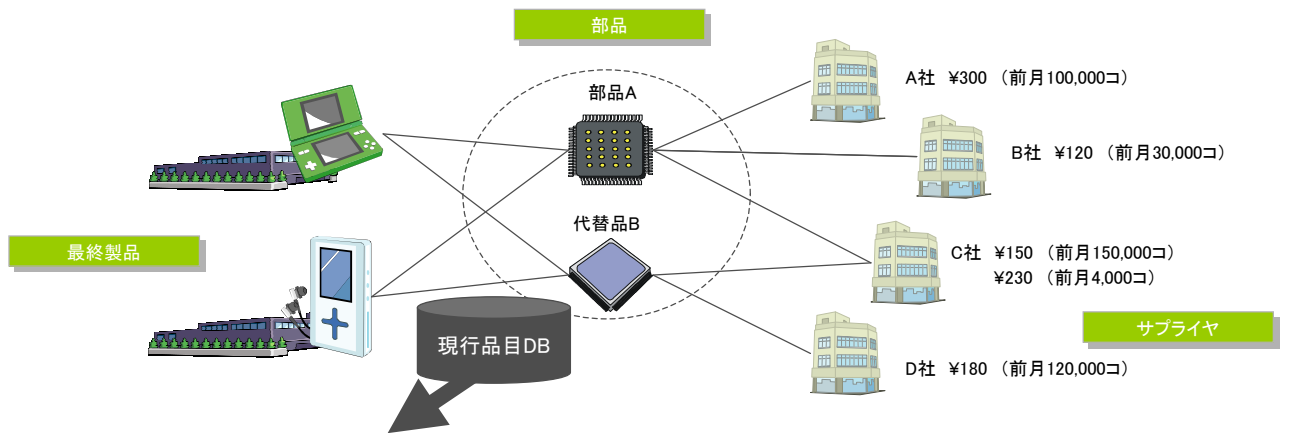
「せっかく集中購買を実施したのにコストが全然削減されない」
 「共用できる部品がたくさんあるはずなのに・・・」

昨今、購買機能を集約し調達コストを抜本的に削減する動きが活発に行われています。ただ、集中購買機能を設置し、事業や拠点毎に分散した情報を統合したものの、一括購買がなかなか進まないケースが多く見受けられます。



CSMとは、『**最適な部品・最適なサプライヤを選択できるITの仕組み**』を構築し、**企業の調達コスト削減**を実現するソリューションです。企業内で活用されるマスターデータベースでは、部品であれば例えば同一機能品や、代替品が多く存在しているにも関わらず、きちんと認識できていないケースが多く見受けられます。いくら集中購買機能を設置していても、これでは一括購買に関して日々機会損失が発生してしまいます。

本ソリューションは、このような状態を解消し、**品目を集約化**させること(集約品番の付与)によって**同一機能品・代替品を横並び**に参照できる状態を提供します。これによって、**一括発注によるコスト削減機会を拡大**することが可能になります。



【最適化前】 同一機能品・代替品の判別が不能
 ⇒機会損失に気づかない

品番	品名	仕入先	単価
0143	セラミックコンデンサBX	A社	300
A803	BX	B社	120
C103	積層コンデンサXYZ	C社	150
2894	BXセラミック	C社	230
J394	XYZデバイス	D社	180
...

【最適化後】 最安値のサプライヤが判別
 ⇒一括購買実現で約3000万のコスト削減

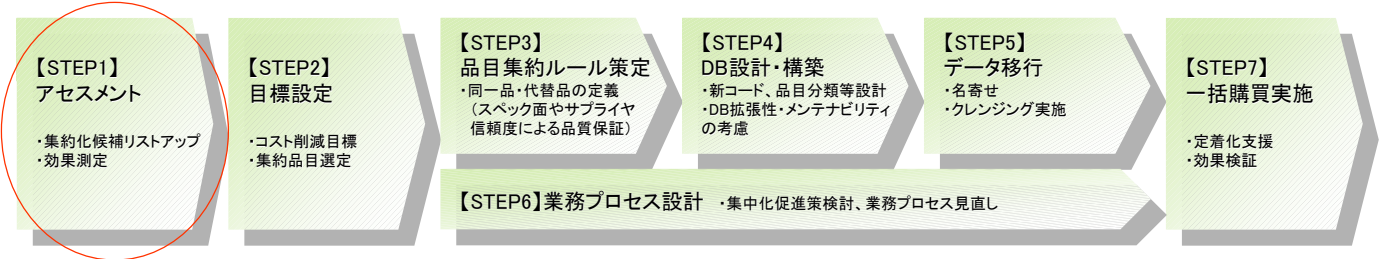
品番	品名	集約品番	仕入先	単価
A803	セラミックBX	0001	B社	120
C103	積層コンデンサXYZ	0001	C社	150
J394	積層コンデンサXYZ	0001	D社	180
2894	セラミックBX	0001	C社	230
0143	セラミックBX	0001	A社	300
...

最適化
 実施

集約期待の高い品目例

- ◆ 業界的に規格化が進んでおり、サプライヤも多数存在する品目 ex.電子部品、鋼材
- ◆ 複数の事業所・工場で利用され、分散購買されている品目 ex.燃料、安全工具
- ◆ 厳密な機能・スペックを求められない品目 ex.オフィスサプライ

CSMデータマネジメントサービス 標準実施工程



品目集約効果測定アセスメントサービス

- ◆1: 貴社現行の品目データベースを解析し、**同一機能品・代替品候補をリストアップ**します。『候補一覧表』
- ◆2: 過去の購買実績を元に削減効果を測定し、最も**集約効果の高い品目を選定**します。『効果診断書』
- ◆3: 上記を元に具体的な品目集約実施における**計画を策定**します。『実行計画書』

1. 同一機能品・代替品候補のリストアップ

- ・名称・仕入先名のほか、サイズや電圧といったスペック情報を元に、自動名寄せを実施しスコアリング
- ・併せて現行の品番発番ルールや問題点を整理

品番	品名	仕入先	サイズ	定格電圧	静電許容	RoHS	...	スコア
0143	セラミックコンデンサBX	A社	φ 8.0 × 8.0mm	250	±20%	対応	...	100
GK01	セラミックコンデンサXL	B社	φ 8.0 × 8.0mm	1,000	±5%	非対応	...	65
C103	積層コンデンサXYZ	C社	φ 8.0 × 8.0mm	250	±20%	対応	...	100
2894	BXセラミック	C社	φ 8.0 × 8.0mm	250	±10%	対応	...	95
8762	YHK-001 8.0 × 8.0	D社	φ 8.0 × 8.0mm	3,150	±20%	対応	...	70
...

同一機能品

代替品

2. 集約効果の高い品目を選定

- ・購買金額、サプライヤ数のほか、名寄せ難易度を加味し、最も効果的な品目グループを選定

品目大分類	品目小分類	品目数	サプライヤ数	購買金額	集約品目数
電子部品	LCDパネル	343	30	782,542	230
	LED	665	53	983,459	340
	抵抗・コンデンサ	1541	23	1,296,420	782
	コネクタ	821	18	356,019	670

付帯機器	真空ポンプ	21	5	21,930	21,930
	冷却水設備	84	4	2,938	2,938

管財	ステンレス鋼管	198	7	890	890

※期間・費用・調査ボリュームは別途ご相談させていただきます

お問い合わせ先: 株式会社データ総研 営業担当 TEL: 03-5695-1651 / E-Mail: crm@drinet.co.jp

株式会社データ総研

代表取締役社長 黒澤 基博

1985年創立。データ設計と標準化に特化したITコンサルティングファーム。データ中心アプローチ(DOA)のバイオニアとして知られる。

PLAN-DB®、PLAN-CODE®をはじめとする設計技法や開発方法論をベースに、わが国のリーディングカンパニー約260社を支援。現在800件を超えるデータ仕様ライブラリを有する。

東京都中央区日本橋小伝馬町4-11サンコービル TEL:03-5695-1651 FAX:03-5695-1656 http://www.drinet.co.jp